

ああ、 結婚！

—婚活日記—

第19回

黒田長宏

<2021年5月15日>

45号の原稿を提出した。相変わらず新型コロナウイルスで困ったもんだ。これでは婚活もどうしていいかさらにわからない。(この文章では4を5に変えただけだろうが。)

<6月18日>

日記ではなくて月記のペースだが、月記という言葉が正式にあるかどうかは調べもしない。無くても私からの造語として現代用語の基礎知識あたりに登録していただいて日本国への私からのプレゼントとしたい。

YouTube チャンネル登録は現在55人だが、これには増減がある。視聴数なら減ることはないはず。広告なしが一番多いのが現在2200ほどの視聴数になっている。原因は不明。

声優の山寺宏一さん(59)が三度目の結婚というのは、私もバツイチといわれる立場だが、三度目とは理由はいろいろあるのだろうが、一般的には多くて困ることだと私の考えからしたら困るとしても、(なぜならそれだけ未婚者が再婚者に相手を取られてしまうから。結婚は共有には私は反対だ。一人と一人が喜怒哀楽をともにすることである。略奪することではない。なんか文句あるか。)三人目の相手が31歳差で、ラジオの水曜日でコンビを組んでいた岡田ロビン翔子さん(28)で、この年の差は希望が持てる。(ちなみに千葉県にあるFM局の番組だから私はたまに通勤帰りにカーラジオで聴いていたのでこのコンビを知っていた。それどころか、山寺さんが2度目の結婚に失敗して愚痴っていたときのラジオのパートナーが岡田さんだったのを私は聴いていた。それが私のアリバイである。今はラジコで全国で視聴可能ではある。だがラジオではすでに共演していないらしい。今後はおうちで饗宴していただきたい。)

<7月20日>

今年も猛暑の時期に突入。相変わらず、告白はできず、婚活アプリも反応もなく、ただただ、婚難救助隊の YouTube を日々増やすのみ。YouTube ありがとう。

現在登録者61名。この数値は増減するが、一番視聴者数の多い番組が2600視聴を超えている。継続は力を信じよう。

<8月8日>

今回は偶然だが、日記ではなくて月報になってしまった。見事に1回ずつである。忘れてもないのもすごいことに気づいていただきたい。書くことがないくらい婚活は変化が出ず、難しいのを表現しているのだ。そこまで読み込んでほしい。だから孤独死だらけになる。もう少し今回は粘ろうかと思ったが、台風8号の最中で心情的にも、賛否両論すったもんだの東京オリンピックも今日で閉会式でもあるし、記念に今日提出することにしよう。

今回も私は再婚することは出来なかった。職場では誰にも告白する勇気？（勇気もなく口説いてしまう奴らが最大の敵だ。てめえら人間じゃねえ。）が持てず、期待のマッチングアプリも100人応募しても1000人応募しても反応がない。金メダルは一人にしか与えられないから、誰かに比べられて負けてしまうのだ。何年婚活をしても。アスリートは金メダルを手にし、私はマッチングアプリへの入金が増える。それでも課金か加金かわからないが、それが少なそうな某マッチングアプリを一つだけ選んでいる。うまく行けば教えるが、うまく行かないうちは男性はライバルが増えるだけなので教えないし、女性は直接この学会を通して私と再婚していただきたい。

（もちろん、義務ではない）婚難救助隊のYouTube。それが私のライフワークだが、できれば、今の職場のうちに、というよりも転職する元気もないが、クビになるとか残り1秒で逆転するようなアメリカの重量級のレスラーのようなことになるがわからないので、ユーチューバーは世界的に人気が出ると早くでるようにこうした休日にコツコツ増やして頑張ろう。ユーチューバーとして世界的に人気が出て、某プロレスラーやピコ太郎のようにそれで生活が保障されるようになったら、この学会を引退しよう。まさに今回の何人かのアスリートたちのように。ここ2週間ばかり数字が止まっているが、YouTubeの登録者数61名。原因はわからないが最大視聴者数は伊東四朗さん主演のドラマの感想の2700視聴超え。記録は超えるためにある。まさにオリンピックだ。一人一人皆様に感謝だ。とにかくユーチューバー一本で生活できる人生を早期に目指したい。月や火星には旅行する気はない。